

フトゥーロ通信

2023年度 2号

NPO フトゥーロ LD 発達相談センターかながわ

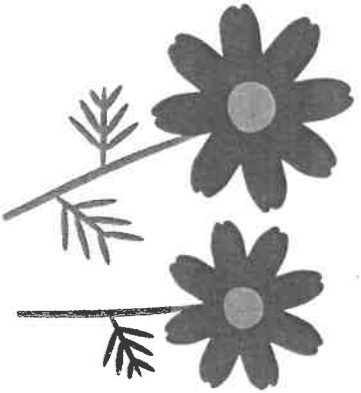
〒226-0025 横浜市区十日市場町803-2

第一サンプラードビル2F

Tel. 045-989-3501

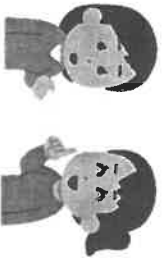
Fax. 045-989-3502

<http://www.futureo.or.jp>



酷暑の夏を経て、少し涼しく感じられる日も増えてきました。季節の変わり目、体調管理に気をつけていききたいものです。引き続き、指導へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学生のつぶやきからの学び



フトゥーロ 所長 安住 ゆう子



電車の中で聞くともなく聞こえてきた大学生？もしかしたら高校生？と思われる二人の女の子の素敵な会話をご紹介します。どういう状況からのこの話題になったかはわかりませんが・・・。

Aさん、「得意なものほどうまく教えられないよね、苦手なものは頭でじつくり考えるから教えやすいかも。先生たちってすごいよね」、Bさん、「うんうんそうだね」私は心の中で「— そうなの？好きなことや得意なことはそのことの知識があるし、伝えたい熱量も高いから教えやすいのでは・・・。いや、待てよ、得意だと苦勞せずにできちゃうから説明は簡単アパウトになってしまったり、逆に分かっているからついつい色々言いたくなつて詳しくすぎてしまうかもしれない。つまりわからなかつたりできない人の視点に立ちにくい、ということか！ 反対に苦手なことはまず、こうやって、ああやって、と一呼吸おき、整理しながら伝えるのでその結果、相手にわかりやすくなる。先生たちは

よくわかっていることなのに分かりやすく教えてくれる=すごいよね、ということですね。ようね。なるほど！

さらに、Bさん「『補助線をここに引く』と言われてもそこに至る経緯を教えてください、Aさん「想像力だよな。」これは先生へのリクエストですね。相手がイメージしにくいことへのヒントをどうするか、とても難しいことです。Aさんが言うように、補助線の場合に気づくには証明問題における想像力があればピンとくるけれど、それがない場合はうーん、選択肢を用意したり、場数を踏む=たくさん問題を解く、ことでしょうか。この後も自分なりの漢字の覚え方など興味深い話が聞いていましたが、私は下車駅となり・・・そのまま乗って話を聞いていたかったです。

大人という立場の人が子どもという立場の人に向かて教えて欲しいと思う時の大切な視点をこの二人の分析が教えてくれました。

夏の特別プログラム

～ホームカミング・学習・スタディ&ソーシャルスキル～

スタツワ 中丸 華子・藤村 愛・高田 由美子



今回は毎年、夏休みに2～3日間で実施する夏の特別プログラムについてご紹介します。

*ホームカミング

夏休み恒例となったホームカミングを今年も2日間(それぞれ90分)に分けておこなうことになりました!参加者は幼児期に参加し、現在継続指導を受けていない小学1～2年生と限らせていただいています。今年も10～11名の参加がありました。保育園・幼稚園を卒業してから、新しい環境にドキドキワクワクしびっくりすることも沢山あった4か月であったと思います。ホームカミングで出会える前にはそれぞれお子さん方の現在の様子を確認し、より楽しいひと時になるようスタッフ一同準備をしました。日によって細かい違いはありますが、概ね以下の流れでおこないました。

①始まりの会…挨拶、簡単な自己紹介、②工作…『ビー玉迷路ころがし』、③かんぱりタイム・ゲーム等、④おやつ…アイス等(アレルギーのあるお子さんには別の物を準備)、⑤終わりの会
参加者は幼児期、様々な曜日に通っていたため、ホームカミングではお久しぶりのお友達もいれば初めましてのお友達もいました。待っている間にすでにドキドキで、少し表情も硬いお子さんもいましたが、自己紹介では前に出て自分の名前、くじてひいたお題内容を発表することができました。工作になると落ち着いた表情を見せ、幼児期ヘルプの練習でも支援した「手伝って」「○○でもいい?」「○○ください」といった言葉が立派に出てくるようになり、とても感動的でした。おやつではホツとしたひと時を過ごすことができ、90分はあっという間でした。(中丸)

*学習

8/21～23日の3日間、10時～12時

10分で実施しました。1日のスケジュールは、50分程度の学習タイム×2回・振り返り・休み時間・掃除時間で構成されています。今回は、2年生と3年生の2名が参加されました。学習タイムには、スタツワと1対1で、読み書きに関すること(単語に区切って読む、物語文を読む、漢字の形をとらえる、漢字の形を覚えるための工夫)について学んだり、算数に関すること(わり算とかけ算の関係性の気づき)、文章を読んで状況を推測する練習(問題文を正しく理解するために、落ち着いて読んで考える)など行いました。最終日は、リクエストのおやつを食べながら、3日間がんばった達成感を共有しました。(藤村)

*スタディ&ソーシャルスキル

8/21～23日の3日間、10時20分～13時20分で実施しました。4名ずつの2つのグループに分かれて計8名で行いました。工作の「シャツ染めは、一緒に行いました。「聞き取り名人」「コントロール名人」「かたづけ名人」「手順名人」「話し方名人」といったテーマごとに、ワークシートで大切なポイントを確認した後にクイズ、工作、発表などを実際に行いました。それぞれの名人のテーマが終わった後も「聞き取り名人だから上手に聞けるね」等スタツワが声をかけると、思いついて意識して過ごす様子が見られました。また、初対面のお友だちと仲良くできるか不安そうだったお子さんが、お友だちから誘ってもらい一緒に遊ぶ様子や、年上のお子さんが年下のお子さんに優しく接する姿など、少人数や異学年で一緒に過ごすよさも感じることができました。(高田)

おうちでチャレンジ 運動発達を支える身体づくり②

スタツワ 森安裕江

第2回の今回は、“しがみつく運動”を取り上げます。この、“しがみつく”という動き、実は、とても高度な運動なのをご存じでしょうか。特に背面側に傾いている状態で長い時間しがみついている動物はそう多くないのです。一説によると、類人猿にならないと傾いた状態での“しがみつき”を維持することは難しいのだとか。そんな“しがみつく”動作は、かすかな体幹の傾きを感じ、頭を平行的に保とうとする平衡感覚と、それを維持しようとして首や腕、手指に適度な力を込めておく固有受覚などの初期感覚を総動員して筋緊張をコントロールしています。中でも、平衡感覚は目の動きをコントロールするためとても大切な感覚で、板書や人や物の動きを追うなど学校や日常の中で必要になるスキルの土台になっていく感覚です。ぜひ、楽しみながら“しがみつく力”育てをしてみてください。注意点として、筋トレにならないようにしましょう。持続的に行えると育ちにつながっていきます。

【準備運動】※筋トレ要素が強いですか、楽しむことが前提の運動です

①さる?コアラ?

親御さんは、お子さんを抱っこしましょう(立位でも座位でも構いません)。お子さんをささえながら、お子さんが親の周りをぐるぐるしがみつきのながら動くことをサポートしてください。

②お馬さんパカパカ

四つ這いになった親御さんの上にお子さんが乗ります。たまに振り落とそうとしたり、立ち上がったりしてみよう(しっかりと身体を起こすとよいでしょう)。子ども達!落ちないでね!

Lv.1 【だっこでしがみつき】

準備運動がより楽しくより激しく(?)取り組めるようにしがみつく力をつけていきましょう

① 親御さんは座り、お子さんを高い位置で抱っこします。お子さんのお尻の下を腕でしっかりと支えましょう。② お子さんがしっかりとしがみついていることを確認し、子どもをゆっくり後ろに傾けます。※お子さんが顎を引いていることを確認してください

③30秒その姿勢を維持しましょう。

※傾ける角度を調節して、保てる場所を探してください※お子さんが後ろにひっくり返らないよう十分留意して行ってください。

【足でゆらゆら】

①お子さんに大人の足の甲に座ってもらい、足を傾けましょう。②ゆっくりと前後左右に揺らします。お子さんが背面側に傾くときに特にゆっくり持続するように行ってください。

Lv.2 【遊具を裏からのぼってみよう・落ちないでいられるかな??】

ネットで登る遊具の裏側を登ってみましょう。もしくは、虫などに見立ててごっこ遊びなどで、何秒落ちないでいられるかなど楽しんで取り組んでも良いですね。低学年ぐらいまでの小さいお子さんは、親御さんのおなかにかしがみつきの、親御さんは四つ這いになって面白いと思います。※どの形も、お子さんの顎が引かれていることを確認してください



Lv.1 【だっこでしがみつき】



好きなことをしながら高校生活を楽しんでいきます！ 聞き手・スタッフ 三島 節子

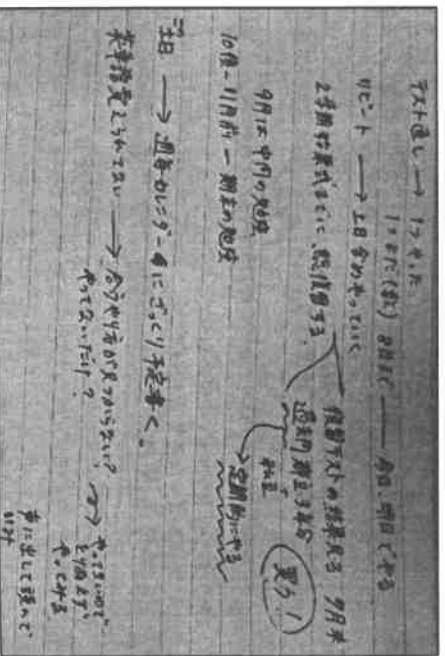
現在高校2年生になったA君(男子)のお母さんの子育てインタビュー第二話です。一話は2023年度1号に載っております。*年齢はインタビュー時(2023年1月)のものです。

第二話・見通しの持たせ方

「すぐに結果の出ない先のことに見通しを持って取り組むカ」が必要なのは、小学時代はせいぜい夏休みの宿題程度ですが、中学になると夏休みの課題に加え、定期試験、そして受験準備と様々な場面で求められるようになります。そろそろ自分でやる力も身につけさせたいが、息子を見ているとまだまだ親の力添えも必要だと感じていました。そこで我が家では中3になったのを機に長い時間の中での『今』を俯瞰して見られるよう毎週「水曜会議」なるものを親子で開くことにしました。水曜日を選んだのは部活が無く、また一週間の範囲であれば息子も考えやすいと思っただからです。「先週はどうだった?」「疲れた〜」から始まり(笑)、一週間の振り返りと次の一週間どうしたいのかを聞いていました。この「水曜会議」を始める前に「高校に行きたい意思の確認」「ゴール(高校受験)に向かってやるべき必要なことを一人で考えることが苦手だから手伝うよ」と伝えていたのですが、会議自体は何の抵抗もなく行われました。今思い返せば、私自身も息子とゆっくりに話ができる時間が楽しかったのです。私は話を聞きながらメモを取って、息子の呟きや心のうちが見えない部分を言葉や図にして見せ考えさせたり、やり方を提案しました。考える枠やヒントさえ作ってあげれば、その先を自分で考えることができるのだという発見や言葉にするのは苦手だけれど案外自分のことはよく理解できていることもわかり嬉しかったです。「日数を実感できるように予定表があるとい

いよね」と私が提案すると「あった方がいいけど、作るのは苦手だから作って」と言う息子。内心、中3に作ってあげるのか〜と葛藤しましたが、本人が作るのが面倒だからいい、となるよりも「使ったら便利」を実感する方が後々の生活に役立つと思いい、作りました(笑)。その他、息子自身からの要望で「課題を忘れないために、声かけをしてほしい」があり、「その声かけは1回?それともやるまでしつこく?」と確認もしました。例えば「昨日声かけてと言ったから声かけますよ」と言って声かけはしますが、結果までは責任を負いません(笑)。基本的に私はサポートだけで、やるかやらないかは自分で決め結果も自己責任という方針でいました。息子が親の私と一緒に考えてもらうことや親の提案を取り入れることが自然にできたのは『苦手なこととはやり方を工夫すればよい』『相談したり手伝ってもらおうといい』といった経験をフットワークでの指導はその時々々の課題にとどまらず「生きる知恵」につながっていたのだと感じました。

この「水曜会議」を何回かやるうちに息子は私が誘導しなくても振り返りやそこで出てきた議題の対処法、次の予定などを考えられるようになっていきました。



スタッフが見つけた！ ★子どもたちのキラリーン★

今年度担当している4年生4人の女の子のグループで7月に夏祭りを計画することになりました。グループの長期目標の一つに「グループの中で所属意識を育て、安心して楽しく参加する」というものがあります。これを踏まえて約1か月前から話し合い、準備にかかります。

回を重ねる毎にグループの絆が深まり、どんどん仲良くなっていく4人。最初の頃は緊張して発言が少なかったAさんですが、少しずつ自分を主張することができるようになりました。Bさんは相手の気持ちを考えたり、欠席した子のことまで気を配ったりしてくれます。Cさんは積極的にみんなとコミュニケーション

ーションをとり、意見をまとめてくれます。Dさんは、独創的でユニークなゲームのルールを考えます。

リハーサルの前のお話です。「当日は何を着る？浴衣がいいなあ、でも浴衣がない子はどうする？ワンピースはどう？いいね！おそろいのTシャツにお店の名前を入れようよ！はっぴとはちまきもお祭りっぽくていいんじゃない？髪型はどうする？」と、こんな具合にもう止まりません。さすが女子ですね(笑)。

当日は準備も万端、小さなお客様に優しくやり方を教えてあげる姿やルールを臨機応変に変更する場面なども見られました。大成功のお祭りを無事に終え、そこには自信と笑顔に満ちた女子力高めの浴衣姿のまばゆいばかりのキラリンさん達がいきました。(スタッフ 石原陽子)

お知らせ

●避難訓練について

10月から11月にかけて、お子さんやグループの状況に合わせて、避難訓練を実施します。日時や詳しい内容につきましては、担当スタッフから説明いたします。

●継続希望調査用紙について

10月中旬頃を目途に来年度の指導継続希望調査用紙を配布し、11月中旬に回収する予定です。よろしくお願いたします。詳細は追ってご連絡いたします。

●感染症対策について

新型コロナウイルスやインフルエンザが流行しているようです。引き続き、感染対策の上、指導にご参加いただくよう、よろしくお願いたします。

フトウエー口通信 2023年度 2号

発行日 2023年9月30日

発行所 NPOフトウエー口 LD発達相談センターかながわ

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町803-2第一サンワードビル2F

Tel. 045-989-3501 Fax. 045-989-3502 ホームページ <http://www.futuro.or.jp>